

2012年04月09日

浦安市教育長 黒田江美子様

運動会開催の時期変更と水撒きの徹底の要望

放射能汚染から子どもを守るうらやすネットワーク

私たち小学生の保護者は、運動会を開催する当日や練習を含めて、子どもたちの砂塵吸引による内部被ばくを心配しています。低線量での内部被ばくが子どもの身体にどのような影響を及ぼすかについては諸説あり、危険の度合いがまだ確定されていない状況ですが、私たちは晩発的な放射線障害のリスクが排除できない以上、不必要な内部被ばくは極力避けるべきだと考えています。

今年度の運動会開催予定である5月は1年を通じて砂塵が最も舞い上がる時期です。私たちはこの時期の開催を避け、10月の体育の日近辺の開催に変更、または開催時期の変更が困難な場合には、事前にグラウンドの天地変え、当日の競技前や競技中に水撒きを行うことで舞い上がりを減らせます。内部被ばく防止の徹底を要望いたします。

記

【要望事項】

1. 10月の体育の日近辺の開催に変更してください。
2. または開催時期の変更が困難な場合には、事前にグラウンドの天地変え、当日の競技前や競技中に水撒きを行い対応してください。
3. 運動会前にサーベイメータでの空間放射線量測定（グラウンド複数個所）をし、各学校の校庭（最低3か所）の土壌放射性物質検査をしてください。100Bq以上（食品暫定基準値以上）であれば保護者、ホームページで公表してください。風による砂埃・土埃まきあげの内部被ばくの危険性を理解し、体育の授業や運動会の練習に配慮をお願いします。
4. 競技で裸足になる場合は、体育館使用や時間の短縮をしてください。
5. 運動会の練習や演技の合間にも手洗いうがいさせる、地面を触った手で顔をいじらない等々、運動会に限らず子どもたち自身にも内部被ばくを防止する生活習慣を指導してください。

6. 子ども達には、除草や掃き掃除などの屋外清掃作業はさせず、保護者に協力を仰いでください。

以上

参考資料

- 舞い上がりは内部被ばく10倍＝放射性セシウム、直接吸入と比較

PDF [平成 23 年 10 月 5 日 \(独\)日本原子力研究開発機構 解説 日本原子力
www.jaea.go.jp/fukushima/pdf/gjutukaisetu/kaisetu08_v2.pdf](http://www.jaea.go.jp/fukushima/pdf/gjutukaisetu/kaisetu08_v2.pdf)

- マスクから花粉セシウム検出なし 福島、東京 - 47NEWS (よんななニュース)
<http://t.co/XsmRNxFJ>